

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会

第4回認知症対策部会 会議録

開催日時	平成29年2月17日(金) 午後2時00分～午後3時15分
開催場所	生駒メディカルセンター3階 研修室
出席者 (委員)	山上部会長、中溝副部会長、川田委員、徐委員、茨木委員、喜多委員、湯川委員、近藤委員
出席者 (その他)	奈良県郡山保健所 健康増進課 水谷係長(橋本委員代理)
欠席者	
事務局	影林福祉健康部長、増田福祉健康部次長、島岡高齢施策課長、田中地域包括ケア推進室長、渋谷地域包括ケア推進室係長、中村地域包括ケア推進室係員
傍聴	2名
案件	(1) 認知症初期集中支援事業の平成28年度活動報告について (2) 認知症対策部会平成28年度活動報告書について (3) 認知症対策部会平成29年度の計画について (4) その他 ① 今後の事業予定について ② アルソックみまもりタグについて
資料	平成28年度 第4回認知症対策部会 会議次第 資料1 認知症初期集中支援事業活動事例 資料2 認知症対策部会平成28年度活動報告書(案) 資料3 認知症対策部会平成29年度スケジュール(案) 資料4 今後の予定 資料5 アルソックみまもりタグ関係資料
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
事務局	1 開会 2 案件 案件(1) 認知症初期集中支援事業の平成28年度活動報告について (資料1に基づき説明)

部会長	28年度は4件。どの事例も大変だったようで、ありがとうございました。ご質問やご意見はございますか。
部会長	意外に通院されていない方もいるんですね。認知症の簡単なテストは支援チームでしているのですか。
事務局	DASK という認知症のアセスメントシートを用いて実施しています。
委員	拒否している方がつながるまでの過程はどうされているのですか。
事務局	最初はかなり警戒・緊張されていたため、短時間の訪問。徐々に長めにするといった時間の調整や、市から訪問があるということをご家族から伝えていただいたら、スムーズに受け入れてくれたこともあった。
委員	何人で訪問されているか。
事務局	必ず2人以上で。精神保健福祉士と保健師ということで、必ず医療面と精神面の両方を診ることができるペアで訪問している。
委員	若年性の人に関わることはなかったか。
事務局	若年性の方は高齢者と違い、自覚して自ら受診される人が多いため、確定診断され、医療機関や家族から紹介される場合が多い。今年度は2件の相談を受けた。
部会長	事例2の方は通院されていたか。主治医への報告はどうされていたか。
事務局	受診が途絶えていた。
部会長	今後主治医も参考にできると思うので、関わっていただいた際には、何らか報告いただければありがたい。
委員	「初期集中」はどこからが「初期」か。時期なのか、状態なのか。
事務局	国としては、発症からの初期の人たちをなるべく早くキャッチして、早期対応できるように、という意図でこの事業を立ち上げた。しかし、実際に初期の方が相談に来るということは少なく、家族も気付かないまま、中等度以上の状態になって初めて相談に来られることが多い。時期は問わず、家族が説得しても、周囲が説得しても医療に繋がらない人も対象となっている。
部会長	以前は難しい症例にも訪問していたが、今後は支援チームに対応していただけるということは非常にありがたい。
事務局	今年度関わった中でも、支援チームが入らなければ重度化していたのではないかと思うケースもあった。その点からも、この事業は意味があるものだと感じた。

部会長	その方は通院されていましたが。
事務局	通院されていたが、大きな病院となると、当該科のことしか診られないこともあるため、なかなかつながらない場合もあるかと思う。
委員	医療につなぐということでチームに専門医が入っていただいている見極め、医療につなぐということで果たしていただく役割があるかと思う。専門的な医療につなぐ場合はどうされているか。
事務局	かかりつけ医がいる場合は支援チームが関わり、かかりつけ医に所見を報告させていただいた後に認知症疾患医療センターにつなぐというような対応になる。チーム員として関わっていただいているのはやまと精神医療センターであり、そちらで診ていただくこともあるかと思う。
部会長	29年度も事例がたくさんあるかと思いますが、よろしく申し上げます。
	案件(2) 認知症対策部会平成28年度活動報告書について
事務局	(資料2に基づき説明)
部会長	認知症安心ガイド、非常に良くできている。どれくらい印刷したか。
事務局	3000部。医療機関や地域包括支援センター、民生委員にもお配りさせていただく。
委員	薬局にも置かせていただきたい。市民が手に取りやすい内容になっていると思う。
委員	ホームページにも掲載していただけるか。
事務局	はい。
部会長	広く配布していただきたい。
	案件(3) 認知症対策部会平成29年度の計画について
事務局	(資料3に基づき説明)
委員	かかりつけ医対応力向上研修は県の分を想定しているか。
部会長	その研修は、開催を希望することはできるのか。
委員	県が年1回開催している。

部会長	もう少し開催されれば参加しやすいかと思う。よろしくをお願いします。
部会長	今年度当初にたくさんのご意見いただいた。29年度も各立場からの問題点、ご意見等をいただければと考えている。
事務局	案件(4) その他 ① 今後の事業予定について (資料4に基づき説明)
事務局	案件(4) その他 ② アルソックみまもりタグについて (資料5に基づき説明)
部会長	1年間ご参加いただいた委員の皆様から感想をいただきたい。
委員	以前は相談があればケアマネジャーが始めから関わっていかなければいけないことがあったが、初期集中支援チームが進んでいくと、ケアマネジャーが関わる時点で、支援チームによって関係ができていくということが増え、やりやすくなっていくと思う。非常にありがたい。 ケアマネジャーは元の職種が様々であり、どうしても偏りがあったりする。個人的にもケアプランを作る上で弱い部分もあるが、部会での経験をもとに広がりを持たせることができると感謝している。
委員	生駒市は認知症施策をオレンジプランの柱に沿って体系的になされ、方針を関係者で共有、実践されていることを会議の中で教えていただいている。 他市町村に助言等をする際には生駒市の取組を広げていきたいと考えている。 県としてもどの先生にも認知症の対応を進めていただきたいということで、かかりつけ医の研修等を企画している。今後も多くの先生に受講していただきたいと考えている。
委員	認知症の方を取り巻く状況の変化を感じることができた。 やはりチームで関わっていく必要がある。チームといっても行政だけ、事業所だけでなく、様々なところを巻き込まないと、最終的に困ることになるのは市民である、ということを共通認識できる機会になったと考えている。
委員	事務局にも感謝。フォーラムにしても、認知症安心ガイドにしても、生駒ってすごいなと改めて思った。
委員	薬剤師という立場で出席。認知症の方との接点は今のところ少ないが、ガイドもでき、皆さんと一緒に一層関わっていきたいと思う。
委員	病院で認知症の方と関わっているが、帰られて後のことはわからない。もっと早く発見できれば、もっと良い方向にいったらというケースもある。 部会での経験により、今後説明等をする際に、困った場合の窓口等つなぎを持たせることができるようになったと思う。

副部会長	歯科医師として認知症の方と関わることは少ないが、認知症に対する知識があれば関わり方が全然違うと思う。今後も勉強させていただきたい。
部会長	多くの貴重なご意見をいただくことができた。県の代表として保健所から来ていただけているのはありがたい。市と県、行政の考え方を聞かせていただくと今後の方針に役立つ。今後もよろしくお願ひしたい。